

基礎形成研修（実施報告書）について（小・中・義）

【実施報告書について】

- 令和6年度以降に2年目の対象となる教諭に関しては、「令和6年度開始版」を使用する。
- 令和6年度より前に2年目の対象となっている教諭に関しては、それまで使用していた実施報告書を使用する。記入については、「令和6年度開始版」のように記入する。（表内の項目は異なるが、そのままでもよい。）
- 報告書のデジタルデータ（手書きの紙面）は、4年間（2～5年目）各自で保管する。
- 毎年度末にデジタルデータ（手書きの紙面）をPDF形式にして提出する。
- 初任者研修で使用した「自己評価票（2，3年目）」の写しについては、令和6年度より提出を求めない。
- ファイル名は以下のようにする。数字は半角にする。
「学校番号+学校名+（基礎・校種）+職員番号+氏名」
（例）98765 岐阜市立（基礎・中）12345 藪田花子
- 養護教諭・栄養教諭は、提出不要。

【校外研修と校内研修等について】

2，3年目の2年間に、自己課題に応じた研修（以下①又は②）を3以上実施する。
4，5年目の2年間に、自己課題に応じた研修（以下①又は②）を2以上実施する。
①校外研修…センター研修の選択講座を受講する。
②校内研修等…研究授業を公開し、授業研究会等を実施する。
※受講する講座の内容や数など、管理職と面談の上、決定する。

【校外研修について】

- 「研修講座2024」の小・中・義対象の「選択講座」より受講する。
- ※ただし、研修番号1000番台等の基本研修は認められない。また、以下の選択研修についても認められない。
- 【2108】放課後オンラインミニ相談会、【2504】放課後学べる！ミニICT講座、【2517】放課後学べる！ミニ著作権講座、【2601】育児休業からの復帰支援のための研修

【校内研修等について】

- 研究授業を公開し、授業研究会等を実施する。
- ※ただし、下記の⑦～⑨のうち、岐阜県教育委員会又は岐阜市教育委員会の指導主事の指導を受けたものに限る。
- ⑦ 全校研究会の授業公開と授業研究会
- ⑧ 自校で行われる国、県、市町村教委等指定の公表会の授業公開と授業研究会
- ⑨ 自校を会場とした教育研究会などの授業公開と授業研究会

<様式>小・中・義 令和6年度開始版
基礎形成研修 実施報告書

名前	岐阜 一郎	岐阜市立藪田中学校	岐阜市立藪田南小学校
----	-------	-----------	------------

【2年目】

自己課題	校外研修		
	月日	講座番号	選択講座名
一人一人のよさを生かした学級経営	9/9	2205	学級経営講座（中・義）
	9/25	2210	生徒指導基礎講座（小・中・義）
	/		

校内研修等

月日	【教科等】、単元・題材名	
/	【	】
/	【	】
/	【	】

校長記入欄
(希望や期待) 画のよさを生かすことと画が学級全体で活発である環境を 記入日 令和〇年〇月〇日
生み出す学級経営力をさらに高められるとよい。

【4年目】

自己課題	校外研修		
	月日	講座番号	選択講座名
子どもが主体的に学習できる授業づくり	/		
	/		
	/		

校内研修等

月日	【教科等】、単元・題材名	
10/3	【生活】	どきどきわくわくまちたんけん
/	【	】
/	【	】

校長記入欄
(希望や期待) 子供の姿や思いを分析し、学年部で継続して検討したことや 記入日 令和〇年〇月〇日
方途を職員全体に広め、伝えていくことを期待する。

【3年目】

自己課題	校外研修		
	月日	講座番号	選択講座名
教科授業における魅力ある導入の実践	/		
	/		
	/		

校内研修等

月日	【教科等】、単元・題材名	
6/12	【理科】	生命の連続性
/	【	】
/	【	】

校長記入欄
(希望や期待) 導入の指導がどのような生徒の姿につながったかを検証し、 記入日 令和〇年〇月〇日
続けて成果を整理していくことを期待する。

【5年目】

自己課題	校外研修		
	月日	講座番号	選択講座名
	/		
	/		
	/		

校内研修等

月日	【教科等】、単元・題材名	
/	【	】
/	【	】
/	【	】

校長記入欄
(希望や期待) 記入日 年 月 日

勤務校は左側の枠に記入する。
右枠は、異動した際、異動先の学校名を記入する。

【校長記入欄について】
・令和3年度より押印は不要。
・校長記入欄への記入を依頼する。
学校長の皆様へ
この欄には「研修の総括及び今後の自己研修に向けての展望及び期待」について記し、記入日を記録願います。

※1 報告書の原本及び電子データは、4年間各自で保管する。小・中・義務教育学校の教諭は、年度末にデータ（PDF形式）にして提出する。栄養教諭・養護教諭は提出する必要はない。
※2 校外研修（選択講座）だけでなく、研究授業公開（校内、市町村（組合）の研究部会、公表会等を含む。ただし、管内の教育事務高、市町村教育委員会の担当主事の指導を研究会の中で受けるものに限る。）をした場合も研修の受講数とカウントすることができる。
※3 校外研修1講座と授業公開研修1公開をそれぞれ行い、合わせて2講座と捉えることができる。